

困った時の相談窓口

【篠山市内】

相談の内容	相談窓口	電話	時間	その他
人権相談 女性のための悩み相談	人権推進課 (第2庁舎 1階)	552-6926	9:00~ 17:00	
総合生活相談	畑ふれあい館	552-4401	9:00~ 17:00	身近な相談窓口として、人権や生活上のさまざまな相談をお聞きします。必要に応じて関係機関へつなぎます。
	日置ふれあい館	556-2850		
	西紀ふれあい館	593-0093		
	味間ふれあい館	594-1003		
	古市ふれあい館	594-1001		
ふくし総合相談窓口	地域福祉課	554-2511	8:30~ 17:15	どこに相談すれば良いのかわからない等、どんなささいなことでも結構です

【兵庫県立男女共同参画センター】

種類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月~土曜日	9:30~12:00 13:00~16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月~金曜日 土曜日	11:00~18:40 9:20~16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談 (男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日 17:00~19:00	
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (要予約)	078-360-8554	毎月第1~4木曜日 10:00~13:00	
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月~土曜日 9:00~17:00	
不妊・不育専門相談 (助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日 10:00~16:00	
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日 14:00~17:00	
思いがけない妊娠(SOS) (助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日 10:00~16:00	
	メール相談 http://ninshinsos-sodan.com		随時受け付け 返信は原則として1週間以内	

【その他(DV等)】

相談先	電話番号	実施日時等
兵庫県立女性家庭センター (兵庫県配偶者暴力相談支援センター)	078-732-7700	毎日9:00~21:00 緊急時は24時間対応しています
兵庫県警察本部 ストーカー・DV相談	078-371-7830	毎日 24時間
神戸地方法務局女性の人権ホットライン	0570-070-810	月~金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:00~16:00

篠山市男女共同参画センター情報紙

フィフティだより

～一人ひとりが輝く社会をめざして～

第41号 平成30年6月

Sasayama City
Gender Equality Center



【発行】
〒669-2397 兵庫県篠山市北新町41
篠山市役所第2庁舎1階
篠山市市民生活部人権推進課
電話:079-552-6926
FAX:079-554-2332

男女共同参画研修会



「ともに暮らす」を考えよう ～家庭と地域の男女共同参画から～

日々の暮らしを大切に、身近な人ともっと協力しあって暮らしたい。そんなふうに思いながらも、「男は外で働き、女は家庭を守る」というような性別による固定的な役割意識も残っているのが現状です。

ではどうすれば、家庭で、地域で、もっと私らしく暮らすことができるのでしょうか。性別のハードルを越えるには、何から始めればよいのでしょうか。身近な暮らしの一角から、「ともに暮らす」を考える研修会を開催します。

日時 平成30年 **7月6日(金)** 午後7時30分～9時(予定)
場所 篠山市民センター2階 催事場1・2
講師 栗木 剛 さん (mottoひょうご事務局長)
申込 不要、当日会場に直接お越しください
託児 有り、7月2日(月)までに下記まで申し込みをお願いします
問合せ 篠山市市民生活部人権推進課
電話/552-6926 ファクシミリ/554-2332

※ 手話通訳あります



性的マイノリティ研修会

～学校で配慮と支援が必要なLGBTの子どもたち～

LGBTの子どもを理解し、具体的にどのような配慮が必要なのかを学ぶ研修会を開催します。



日時 平成30年7月3日(火) 午後3時～4時50分(予定)
場所 篠山市民センター 多目的ホール
講師 日高 庸晴 さん (宝塚大学看護学部 教授)
申込 不要、当日会場に直接お越しください
問合せ 篠山市市民生活部人権推進課
電話/552-6926 ファクシミリ/554-2332

※この研修会は、篠山市養護教諭・人権教育担当者研修会を兼ねています

男女共同参画週間

6月23日～29日

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。（男女共同参画社会基本法第2条）

「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、様々な取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

平成30年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズの決定

内閣府では「スポーツに関わるあらゆる分野での女性の参画を推進し、様々なスポーツに男性も女性も親しみ、チャレンジし、活躍できるようになるためのキャッチフレーズ」を募集し、応募総数3,101点の中から、次の作品が選ばれました。〔募集期間：平成30年1月12日～2月28日〕

最優秀作品

「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」 大川 麗さん（滋賀県）



市政に女性の視点を 「篠山市女性委員会」

篠山市では、女性のみで委員を構成する「篠山市女性委員会」を設置しています。

自らの研鑽に努めるほか、女性問題や市政における女性の役割等についての調査研究、意見交換等を行い、市政の各分野に対して女性の感性を活かした提言を行うことで「男女共同参画社会」の実現を進めることを目的としています。

※過去の提言は、篠山市ホームページをご覧ください。



「第9期篠山市女性委員会」委員のみなさんからメッセージをいただきました

篠山市女性委員会委員を務めるにあたり、過去の委員の方々の活動や研修、報告に至って、多くの学びや実践が数々あることを知る機会となりました。改めて、敬意を表します。お声掛けをいただいた経緯はありましたが、少し、ワクワクした心が湧いてきました。「女性委員会」名の通り委員はすべて女性です。今の時代に…とも感じました。しかし、女性の立場、母なる立場は、固有の特徴であるからこそ大切であると感じるところです。甘んじて主張していくことではなく、経験や体験、見たり感じたことを、発言する場であり、自分自身を磨くところであることが、前向きだと感じています。仲間、同志、堅苦しい表現ですが、共に、篠山が大好きになって、夢の持てる希望の持てる町に導いていきたいと思っています。古き良きものや伝統の継承などを大切にしたいと思っています。

H

私の篠山女性委員会への参加は、第8期に続いて二回目となります。月に一度女性委員で集まり、今の篠山に必要なこと、これからの篠山への希望について意見を出し合っています。主婦たちの日々の不便や疑問…でも、そういう所からの生の声が本来の篠山の姿であり、改善点の発見となるのでは…些細なことについても声を上げることが出来ること、それを聞いてくださる機会があることに感謝をしながら今日も皆でおしゃべりします。

M



それぞれの立場で生きているから、感じ方もそれぞれにあります。この委員になってみて、自分の経験から地域のことを改めて考え、また発言を聞いてもらえることに面白さを感じています。今期の女性委員は7人です。託児をしてくれるので、子連れでできます！私は仕事で、会議などに参加したことがなかったので、勉強になりました。

Y

農家か非農家か、暮らす町が市街地か中山間地か、子育て中かそうでないか。異なる背景をもつ女性が集まる会議は、自分とは異なる日常のとらえ方に触れることができ、いつも刺激的です。そして、それがどんなに違っていても、女性として共感できることばかりであるというのも、女性委員会ならではのこともかもしれません。この場で練り上げれば、性差や年齢を超えて共感できる提案が生まれるのではないかと感じています。

H



この春から女性委員会に参加する機会を得て、個性豊かな女性たちがこの会の原動力となっていることを実感します。今や「女性の視点」と耳にすると、かえって男女を隔てた印象を受けるかもしれませんが、立ち位置が変わればこれほど多様な見方、考え方があり！と驚くことが沢山ありました。やがて私も辿る道…メンバーからこの言葉を聞いて以来、これまでより未来の篠山を具体的にイメージする事が増えました。大好きな街で笑顔で暮らすには…？まだ道は半ばですがこれからも学びを深めたいと思っています。

O

女性委員会に参加させていただいて、自身が今まで興味や関心を持たなかったことに視点を向ける機会をいただき、いつも学ばせていただいています。また、同じ篠山在住でも住んでいる地域が異なる委員の皆さんとの意見交換も新たな気付きや発見があり、良い刺激をいただいています！

M

女性委員会の集まりは、「見えなくてはいけないもの」を発見する場所です。多忙の中、参集するメンバーのキラキラした笑顔、厳選された智恵に驚き、勇気づけられています。スタートも場所も違うけれど、登る山は皆同じです。私が、これから思い出をつくる大切なまち、この篠山で、そして未来の子どもたちに宝物を残してあげたいと思います。そんな壮大な夢を描き、提案できるように取り組んでいきたいです。

N

